

交流と親睦のために



熱戦が繰り広げられたソフトバレーボール

文化
なかの

中野市公民館報

2010

No.67
(通巻No.599)

発行
中野市中央公民館
編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

西部地区で分館対抗球技大会開催

西部地区分館協議会と西部公民館共催の第20回西部地区分館対抗球技大会が、9月5日(日)に開催されました。平成3年度に西部公民館が開館した時、平野と高丘地区の親睦を深めるために始まり、今年で20回目を迎えた伝統ある大会です。競技はソフトバレーボールとゲートボールで、総勢227名の選手が猛暑の中、熱い戦いを繰り広げました。この日のために、連日、練習を重ねてきた参加者のファイトある試合に、周囲から熱い声援が送られていました。ソフトバレーボールは長嶺分館、ゲートボールは立ヶ花分館が優勝し、その後表彰式、懇親会を行いました。

翌日から次の大会へ向けての、練習を始めた分館もあります。皆さんのエネルギーに脱帽です。

今月号の
特集

公民館レポート
文化祭のお知らせ

あおぞら

秋がやってきた。口を開けば「暑い、暑い」と言っていた季節がようやく終わったようだ。

秋は、私にとって、「食欲と睡眠の季節」だ。よく食べて、よく眠るぞ。と思っていたが、少し前に漢字検定を受けた。息子の受験も迫ってきたし、一緒に勉強するのも悪くないか、という軽い気持ちからだ。

以前一度受験したが失敗した級への再挑戦。よし、今度こそ！と鼻息荒く取りかかったものの、かなり難しく心が挫けそうになる時もある。しかしながら、漢字は学ぶ程に実に奥が深い。一つの文字が様々な読み方になる。同じ言葉を表すのにも色々な書き方がある。国や植物、動物を表す当て字も面白い。

「認める」は、「みとめる」のほかに「したためる」という読み方もある。「おさめる」と読む漢字は、「収める」「納める」「治める」「修める」と様々だ。

「飛蝗」(ばった)「油漆」(ペンキ)「亜馬森」(アマゾン)「聖林」(ハリウッド)「風信子」(ヒヤシンス)など、パソコンで変換すると出てくるものもあるが、普通は使わないし読めない漢字ばかり。

ちなみに、「美」という漢字には「太った羊」という意味があるのをご存知だろうか。自分の名前に使われているこの漢字にこんな意味があるのかと驚いてしまった。秋の味覚と惰眠を貪りすぎて「美しく」なりすぎないようにしようと思う。(清水)

子ども音楽講座

公民館
レポート

ミュージカルを楽しもう!開催

本物の芸術に触れた瞬間
充実した6日間



真剣に取り組んだダンスレッスン

中央公民館では子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう!」を7月11日(日)から9月5日(日)まで全6回、豊田文化センターで実施しました。

中央公民館では子ども音楽講座「ミュージカルを題材としたワークショップ形式で行い、子どもたちが優れた芸術文化に触れること」で、中野市の目標の一つでもある「文化が香る元気なまち」づくりを進めています。



みんなで歌詞を考えました

講師はソプラノ歌手で東京学芸大学准教授の嶋崎裕美先生はじめ第一線で活躍されている5名を招き、歌とダンスの指導をしていた

子どもたちからは、「この講座を通して、改めて心から楽しいと思いました。もっともっとミュージカルを学んでいきたい」、保護者からは、「本物に触れさせていただき、子どもたち一人ひとりが真剣に頑張ろうと努力している姿、やり終った後の充実した笑顔がすばらしい」との感想がありました。

講座に参加した子どもたちが、これから文化の担い手として活躍して欲しいと思います。

市内の小学生から高校生までの25名が参加し、講師から出された課題の歌やダンスに真剣に取り組んでいました。

全員で好きな言葉や、自分が大切にしている事柄などで作詞する事に挑戦し、講師の福原先生が曲をつけて、市のオリジナル曲「未来への一歩」ができました。後半では、この曲に振り付け、全員で歌いながら踊れるようになりました。

未来への一歩

作詞 子ども音楽講座参加者
作曲 福原智子

1 青い空 風を感じて

自然の中 歩いていこう

広い海 太陽の下

光の中 歩いていこう

*生れてきた このきせき

夢 希望 勇気

私たちは 一人じゃない

明日をみんなで見にいこう

この地球という星で生きていこう

笑顔たやさず 過していこう

一日一日 大切に:

家族や友と 生きていこう*

2 星空見て 夢をいだいて

前を向いて 歩いていこう

はるか地平線 さあいこう

手をとり合って 歩いていこう

(以降*繰り返し)



オリジナルソングを歌う

こんにちは 分館

赤坂区は豊田地区の東北部、豊田飯山ICの東側にあります。

小さな集落ですのでお互いに気心もわかり、集会所に集っては文化祭、新年会等の行事を行っています。

集会所の右隣には延命地藏菩薩が立っています。

赤坂分館

石の船に乗っているのが地元では船地藏と呼ばれ親しまれています。遠くからお参りに来る人もいますよ。

育成会行事は三俣、深沢区と合同で、1月のどんと焼きや夏休みのラジオ体操、お楽しみ会が行われています。ふるさとの思い出を子どもの心に刻み、新たな赤坂区を担い、発展させてほしいと願っています。

(分館長 田中 豊美)



赤坂の子どもたち (赤坂農村公園にて)

ふるさとの歴史

赤坂という地名は、市内大字豊津の赤坂と、大字穴田の赤坂が並んで二筆ある。この赤坂は旧街道替佐峠の頂上、三俣に続く沿線に位置し、十二戸のムラが点在している。

地名の由来は火山灰が風化した赤色の地質からきているという。

長野県に赤坂と呼ぶ地名は十三ヶ所ある。赤坂という地名は傾斜地や丘陵の先端にあることが多い。近くは山ノ内夜間瀬の赤坂がある。さて豊田赤坂の火山灰を調べてみたら意外にも地続きの斑尾山の灰

でなく、飯綱山や黒姫山、妙高山などから運ばれてきた灰であることが分ってきた。

この赤坂一帯に見られる火山灰は、赤坂ローム層と呼ばれているが、お隣の飯綱町赤塩の灰と似て

赤坂の火山灰

いるところから、赤塩ロームとも呼ばれている。赤塩ローム層は赤坂と同じく一番多いのは、飯綱、黒姫の灰で妙高の灰もみられるという。赤坂一帯の火山灰層は、第四紀洪積世中期のもので、十三万

年から七十万年位前の火山灰といわれている。(清水岩夫先生談)

大俣の南にある崖の地層は(長丘々陵)赤坂より古い第四紀洪積世前紀の地層といわれている。この崖のすぐ下にある上今井の旧河道(古川)の滑走斜面は、最も新しい第四紀沖積世の地質である。平成の初め(株)日本工営が地質調査のため、同地をボーリングしたところ、約六十メートル下層より、飯綱山の火山灰が発見されている。郷土の地質には夢がある。不思議発見と行きたいものである。

(小林 修一)

中野市女性団体

連絡協議会研修視察

女性団体連絡協議会では、会員相互の交流を図り、地域の学習を目的とした研修視察を毎年行っています。今年9月2日(木)に佐久市の内山牧場大コスモス園を散策、午後はぴんころ地蔵で健康長寿を願う参拝、龍岡城五稜郭跡を見学後、川村吾蔵記念館を見学しました。

当日は26名が参加。残念ながらお目当てのコスモスは時期が少し早くあまり花が咲いていませんでしたが、高原の風にふれ、ひと足早く秋を感じることができました。また、会員相互の親睦もでき大変有意義な一日となりました。

会は昭和54年9月に設立し、今年で32年目を向かえました。会発足の当時と現在において、社会情勢や女性の立場などは違いますが、これからも各団体相互の連絡協調を図り、女性共通の活動や問題について研究協議し、提携して課題に取り組みことを目的に活動していきたいと思っております。



コスモス園での記念撮影

北部・西部・豊田公民館の文化祭

*** 入場無料・どなたでもご覧ください ***

豊田公民館

第6回 豊田公民館文化祭

● 作品展示 ●

地域の皆さんの力作が勢ぞろい

期間 10月22日(金)～

24日(日)

午前9時～午後8時

(24日は午後2時まで)

場所 豊田文化センター
全館

内容 絵画、生け花、木彫、写真、水墨画等の作品展示

● 映画鑑賞会 ●

最新の話作2作品を一挙上映!!

日時 10月23日(土)

第1部：午後3時00分～

4時34分

アニメ「ヤッターマン
新ヤッターメカ大集合
オモチャの国で大決戦
だコロン」

第2部：午後6時00分～

8時06分

「おとうと」

場所 豊田文化センター
ホール

● 音楽芸能発表会 ●

日時 10月24日(日)

午前9時から

午後1時

場所 豊田文化センター
ホール

内容 舞踊、合唱、フラダンス、楽器演奏などの活動発表

西部公民館

第20回 西部公民館文化祭

● 開館20周年記念行事 ●

津軽ひろ子・瀬名ひとみ

艶歌ビッグショー

日時 11月13日(土) 午後2時～

会場 多目的ホール

● 作品展 ●

地域やサークルの皆さんの作品が皆様をお出迎えます。

期間 11月13日(土)～14日(日)

午前9時～午後4時30分

会場 西部公民館 全館

内容 小中学校児童・生徒作品、地域の皆さんの日頃の作品、サークル・団体のみなさん(写真、生け花、アレンジフラワー、籐工芸、陶芸、押し絵など)の作品展示

● 芸能発表会 ●

多種多彩な演目の西部劇場へどうぞ!

日時 11月14日(日) 正午から

会場 多目的ホール

内容 地域、サークル・団体の皆さんの(コーラス、詩吟、舞踊、オカリナ、子どもと大人のジャズダンス、ヒップホップ、健康バレエなど)発表

● 点前茶席 ●

一期一会の会の皆さんと子どもたちがお抹茶でおもてなしをします。

日時 11月14日(日)

午後1時30分～午後4時

会場 2階教養室・フリーゾーン

● 安源寺子ども会花展 ●

安源寺子ども会のみなさんが植えてくれた花が皆さんをお出迎え

期間 11月13日(土)～14日(日)

会場 玄関前

● 古文書解読展 ●

西部地区に残る近世(江戸時代)の古文書を分かり易く解読し、当時の歴史について興味深く読んでいただけます。

期間 11月13日(土)～14日(日)

北部公民館

第24回 北部公民館文化祭

● 作品展 ●

見事な作品をご鑑賞ください!

期間 11月6日(土)～7日(日)

午前9時～午後4時

場所 北部公民館 全館

内容 小中学校児童・生徒作品、地域の皆さんの日頃の作品、サークル・団体のみなさん(生け花、陶芸、水彩画、パッチワーク、絵手紙など)

● 講演会 ●

貴重なお話しです!!

日時 11月6日(土) 午後1時30分～

場所 北部公民館 講堂

講師 第49次南極地域観測隊越冬隊員 赤田幸久さん

内容 南極の自然や、基地での生活について、お子さんにもわかりやすいようにご講演いただきます。また、お子さん向けのクイズもご用意いただいております!さらに!北部公民館オリジナル南極探検隊バッチプレゼント(お子様先着30名限定!)

● 芸能祭 ●

多彩な芸能を満喫できます!

日時 11月7日(日) 午後1時～

場所 北部公民館 講堂

内容 児童の発表、地域のグループ・サークル・公民館利用団体の活動発表

● その他 ●

日時 11月7日(日) 午前9時～

場所 北部公民館 駐車場

内容 青空市場(野菜、果物等の販売)、ラーメン屋台(午前11時～)、飲み物、切手の販売など

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

中野市公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	パソコンサロン ＜内容＞パソコンを使っ て いてわからないところを 指 導員がお答えします	毎週月曜日 ※祝日、年末年始を除 く 午後1時30分～ 午後4時30分	中央公民館 2階団体室	NPO 新技術振興会	＜定員＞6名 ＜受講料・申込み＞不要 ※メニューに沿って進める パソコン教室とは異なり ます。 ※パソコン持込み可
	歴史講座 ～北信地方（北部）にお ける真宗の発展～	11月11日・25日 12月16日 （全3回 毎回木曜 日） 午後7時～午後8時30 分	働く婦人の 家 2階軽運動 室	湯本 軍一 先 生	＜定員＞70名程度 ＜受講料＞不要 ＜申込み＞10月12日（火）か ら
公民館ギャラリー 陶友会の陶芸作品展					
豊田公民館	ストレッチ& ピラティス	10月25日 11月8日・22日 （全3回 毎月曜日） 午後3時30分～午後5時	豊田公民館 日本間	脇坂 れい子 先生	＜定員＞30名 ＜受講料＞無料 ＜持ち物＞運動のできる服装
	初級英会話教室 （後期）	10月5日から （毎週火曜日） 午後7時～午後9時	豊田公民館 101 会議室	レイニング・ デビット・マーティン 先生	＜受講料＞無料

第38回 中野市総合文化祭 のお知らせ

文化展

日時：11月13日（土）～14日（日）
午前9時～午後5時30分
会場：中央公民館（予定）

芸能祭

日時：12月5日（日）
開場 午前9時（予定）
開演 午前9時30分（予定）
会場：市民会館ホール
問い合わせ先：中央公民館

秋の市民登山教室 参加者募集中

今年も秋の市民登山教室を実施します。
参加してみたいかがですか。

日時：10月17日（日） 午前5時出発
集合場所：中央公民館
登山場所：北八ヶ岳 中山2,496m
講師：中野山岳会
参加費：1人10,000円
定員：40名

申し込み 10月13日（水）まで
事前説明会：10月13日（水）午後7時～中央公民館講堂
反省会：10月27日（水）午後6時30分～中央公民館講堂
問い合わせ先：中央公民館





運動会／長丘小 (o)



ブドウ棚にかぼちゃ／一本木 (月岡尚雄)



百合／赤坂 (穴田きいぼー)

花と季節の写真募集

宛先

☎383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館
☎22-2691
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります・四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

季節のコラム

夏の暑さもひと息つき、秋の訪れを感じる今日この頃。秋といえば『食欲の秋』『芸術の秋』『スポーツの秋』など、いろいろな事をしたくなります。あなたにとって秋といえばなんですか? 『紅葉の秋』『行楽の秋』などもいいですね。私は食欲の秋ですので、紅葉や、行楽も兼ねて今年もキノコ狩りへ出かけようと思います。山へ入り、キノコ狩りをするにあたり大事なことは夢中になりすぎて、動物たちの生活エリアへ入らないようにする事。そして、全てを採りきらずに必ず2、3本は残す事。キノコたちは胞子で次の世代を引き継ぎます。キノコ狩りには竹で編んだ「びく」または隙間がたくさん開いた入れ物を使いましょう。これなら山を歩くときに、胞子たちをまた森に返して上げられるそうです。ビニール袋に詰め込むのは、胞子たちまで持ち帰ってしまうので止めましょう。これは山のルールだそうです。ちよつとした事が、自然環境保護へと繋がりますね。秋を楽しく満喫するためにも、それぞれのルールを心がけたいものです。

お知らせ

来月(11月)号で文化なかのは、通巻600号を迎えます。次号は、記念の特集を入れた別冊号で皆さんへお届けする予定です。